
悪夢ニ追ワレル彼女ノ為ニ・・・

時又玲奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪夢ニ追ワレル彼女ノ為ニ・・・

【Zコード】

Z9265M

【作者名】

時又玲奈

【あらすじ】

人を殺すために生まれた彼女。今日も彼女は「赤」にまみれる。彼女の為に出来ることは何なのか?今日も俺は人殺しの道具に手をかける。

(前書き)

かなり悲しいです。結構切なげにしてあるので、注意ください。
「
悪夢ヲ知ラヌ彼ノ為ニ・・・」の彼視点となつてます。

黒い服。偽者の名刺。通信機。そして・・・

人殺しの道具。

俺は人を殺す為だけに生かされている。そして、彼女も。

「実羽」

静かに俺がその名を紡ぐと、彼女の方がビクッとはねた。まるで、怖れている『何か』に怯えているかのようだ。

「私は亜奇。もうその名で呼ばないで」

勢いよく振り向いた彼女の瞳からは今にも涙が零れ落ちそうだが、声も震えていた。

「実羽」

もう一度その名を呼ぶと、彼女はキッと俺を睨み、表情を怒りへと変えた。

「違う。私は亜奇、亜奇なの。私は実羽じゃない、私は亜奇」

まるで自分に教え込んでいるかのようになに彼女は幾度となくその言葉を紡いだ。

両耳を塞ぎ、首を横に振り続け、地面に座り込んでしまつ彼女。

「実羽」

彼女の「本当の名」を呼びながら、俺は彼女を抱きしめた。その体は今にも壊れてしまいそうなほど弱く、冷たい。

頭を撫でてやると、彼女の震えはだんだんと小さくなつた。そして彼女は啜り泣きを始めてしまつ。

人を殺す為だけに生まれた少女。

そして、たつた一人の幼馴染であり仲間。俺が想う者。

『亜奇』。それは確かに彼女の名だ。だけど俺と彼女が付け合つた名ではない。俺は彼女を『実羽』と呼び、彼女は俺を『響』と呼ぶ。俺と彼女だけの名。

『?1亜奇、?15残酷 直ちにターゲットの元へ向かえ。?1
亜奇、?15……』

機械音の混じつた声が耳に付けた通信機から流れる。人殺しの命令だ。

彼女がその命令を聞き、よろよろと俺の腕の中から立ち上がつた。

「響、行つて来ます」

柔らかな笑みを顔に宿し、彼女は殺しの場へと向かう。

今日もきっと、彼女は血に塗れて帰つて来るのだろう。
その瞳に虚無を映し、暗い部屋の隅で悪夢に怯え震えるのだ。
彼女はこれからどれだけ苦しめばよいのだろうか？

彼女の苦しみを少しでも軽くする為に、俺は人殺しの道具を構える。

(後書き)

彼女 実羽、

亞奇・俺

響、

疑酷です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9265m/>

悪夢ニ追ワレル彼女ノ為ニ・・・

2010年10月11日08時16分発行